

特別支援教育だより 「だいじょうぶ！」 NO 1

発行日 令和8年 4月吉日
拠点校校長 三山 博樹
発行元
松ノ木エリア特別支援教室

暖かい春の陽気に包まれ、新年度がスタートしました。この特別支援教育だより「だいじょうぶ！」は、松ノ木エリアの特別支援教室担当から3か月に1度程度のペースで発行します。特別支援教室の入室に関わる情報や特別支援教育を切り口に、ちょっとした子育てのヒントや情報を発信できたらと考えています。よろしくお願いします。第1号では特別支援教室の紹介と校内の相談窓口についての特集です。

1 特別支援教室の利用について

お子さんが困っていると感じたら・・・

お子さんの様子を見て、このような課題を感じたことはありますか。

気持ちの切り替えが
むずかしい



コミュニケーションが
うまくとれない



不注意で、
気が散りやすい



運動や体の動きが
器用にできない



勉強に得意不得意があり
力を発揮しにくい



衝動的に
動いてしまう



これらの課題でお子さんが困っている、悩んでいると感じたら、まず学級担任に相談してみてください。上記の課題は発達段階においてどの子にも当てはまるものでもあります。しばらくすると気にならなくなるようなことなのか、それとも何らかの支援

をする必要があるのかについて、日頃の様子を話し合いながら一緒に考えさせていただきます。児童の中には、その子に合った学び方や働きかけをすることで課題をスムーズに改善・克服できるお子さんもいます。そのようなお子さんに対して「特別支援教室」の利用を勧めさせていただくことがあります。

「特別支援教室」とは

☆知的な遅れのない発達障害の子どもたちのサポートを目的とし、子どもの状態に応じ、一人一人が抱える困り感を改善する教室です。一定時間（週に1回、1～2時間程度）在籍学級とは別の場所で、個々に合った指導を受けます。

☆ご希望があれば、より具体的な内容を伝えたり、パンフレットを渡したりできますので、校内の相談窓口にご相談ください。

2 まつのきエリア特別支援教室について



この地域では松ノ木小学校を拠点とする松ノ木エリアとして、浜田山小学校、東田小学校、堀之内小学校の4つの学校を教員が巡回指導をしています。

集団活動への参加、友達関係、人とのコミュニケーションなどを中心に学習の悩みや、気持ちの表現方法など個々の課題の改善や目標に向けて取り組んでいます。2～4名の小集団学習と個別学習のどちらか、もしくは両方を組み合わせて学習します。目標や内容は保護者、学級担任と相談しながら決定します。

3 校内の相談窓口について

- ・各学級担任 ・養護教諭
- ・令和8年度特別支援教育コーディネーター
(境 菜穂子〈1-2〉・加藤 敦子〈家庭科〉)
- ・特別支援教室巡回教員 (山田真利江・南智恵子・林美希・山口千尋・藤田紗貴子・丸山留美・渡士由子・西村ひとみ)
- ・スクールカウンセラー (増井紀子・結城賢一)

いずれも相談の窓口になります。秘密は厳守しますが、必要に応じて校内で連携を取り、チーム体制でお子さんにとっての支援を考えていきます。

特別支援教室の担当は、学級担任と日頃から連携を取り、授業観察や相談を行っています。利用するおさんはもちろんのこと、利用していないおさんに対してもできる支援をしています。

☆特別支援教室に関するお問い合わせはこちらまで☆

拠点校 まつのき教室 直通03-3313-2466

特別支援教室に入室をお考えの保護者の方へ

令和8年度の入室に関する情報です。入室するには、発達検査を受け、学校を通して区に書類を提出する必要があります。発達検査を受けてから結果を通知されるまでには約1か月掛かります。また校内で会議をし、書類を作成する必要があります。(書類を出しても必ず入室できるとは限りませんのでご承知おき下さい。)入室をお考えになったら学級担任もしくは特別支援コーディネーターまでご相談ください。